

# 長尾福祉会報

平成28年4月1日

第33号



長尾聖母幼稚園との定期交流 触れ合いのひとこま

—長尾福祉会理念— 障害をもっているも もっていないも 男も女も  
 「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる  
 社会づくりをめざします。

## もくじ

福祉課題の変化に対応する法人を目指して	2
開設二十周年を迎えて	2

### ●ハーティヴィラ亀鶴

訪問を通じての地域交流	3
みんなのおかげ	3
ケアプランセンターゆたか	3

### ●ゆたか荘

開荘記念日を迎えて	4
生活から「食」を捉える～美味しかったの笑顔を求めて～	4
近隣小学生との交流を通して	4
秋の遠足	5

### ●デイサービスセンターゆたか

笑うは元気の源	5
フラワーアレンジメント活動	5

## ●のぞみ園

秋の遠足 男子・女子・通所	6
秋の遠足 就労	6
秋の遠足 南	6
おもちつき	6
クリスマス会	6
祝成人	7
ひなまつり茶会	7
保護者の一言	7
のぞみ児童デイサービス事業所	7

新採用職員紹介	8
ご支援ありがとうございました	8
助成	8
編集後記	8



## 福祉課題の変化に対応する法人を目指して

社会福祉法人長尾福祉会 常務理事 森田 浩之

昨年、社会福祉法人長尾福祉会は法人として創立20周年の節目を迎え、これまでを振り返るとともに法人の存在意義、使命について決意を新たにいたしました。

今年度は当法人が最初に開園した施設の「障害者支援施設のみ園」が開園20周年を迎えます。障がい者・児を取り巻く環境もこの20年で大きく様変わりし、障がい者・児が、社会のなかで特別なものではなく普遍的な存在として、サービスも多様化しています。

また、障がいという概念も広範化するともに関わる人が多くなるにつれ、支援の体制や考え方も福祉と医療の連携を通じて高度化してきました。そして最近では、人の「個性」や「特性」だったものが、臨的に「障がい」として診断されるケースも増えてきており、治療としてアプローチできるようになった反面、その診断名が偏見につながるという新たな問題も出てきています。

小さなことや考え方の相違から偏見や差別につながり、その結果、社会生活が不安定になるといふ事や、最近では「子どもの貧困率」も社会問題となっております。

昨年より取り組んだ「香川おもいやりネットワーク事業」については地域での生活困難事例を、地元社会福祉協議会をはじめ地域の民生委員や社会福祉法人と連携しながら事業を進めてまいりました。一見豊かに見える現代社会でも、福祉課題は時代ごとに変化しながら存在しています。制度も次々整備されるにもかかわらず、常に制度の狭間にいる人たちがいます。事例のなかには社会的孤立から入るものも多く、ネットワークを通じてしっかりとサポートしていきたいと思えます。

今年度、長尾福祉会は、従来の事業に加え新たな事業として、待機児対策と就学前の早期支援の必要性からの障害児保育・教育機能を備えた幼保連携型認定こども園の整備着手を予定しており、子どもから大人まで幅広く支援できる体制整備と相談機能の強化を中心に事業を進めてまいります。

### 平成28年度 長尾福祉会 基本目標

- ・既存の事業の充実と新たな事業への参入
- ・地域の福祉ネットワークの構築

### 平成28年度 長尾福祉会 重点事業

- ① 自法人のサービス評価と面的サービスの実現に向けての調査研究
- ② 地域包括ケアの実践
- ③ 健全な法人経営と情報公開
- ④ 次代を担う人材の積極的採用と育成
- ⑤ 中長期事業計画の策定と法人理念の共有と発信
- ⑥ 社会福祉法改正への対応

## 開設二十周年を迎えて

障害者支援施設 のぞみ園 園長 岡 慎也

桜の花も美しく咲き、春の陽射しも心地良い季節になりました。昨年11月よりのぞみ園園長に就任し、業務にあたっています。何分若輩者で経験不足なため、皆様方の温かいご支援を頂きながら歩んでいきたいと思っております。

今年度はのぞみ園開設20周年。このような節目の年を迎えられるのも地域の皆様方の支え、ご協力あつてのことと職員一同感謝しております。

のぞみ園では「利用者の高齢化」をはじめ「生活環境の整備」「リスクマネジメント」など課題は山積みです。また、障害者・児を取り巻く環境や国の福祉施策も時の流れとともに変化し続けています。今後の情勢をしっかりと見極め、その時代に合った障害者福祉サービスの提供が求められます。このような状況ではありますが、今後も長尾福祉会の理念を念頭に置き、御利用者一人ひとりの特性に応じたより良い支援を目指し、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。まだまだ至らない点も多々ありますが、今後ものぞみ園の御家族の皆様、地域や関連機関の方々のお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 平成28年度の目標と課題

#### 目 標

- ・利用者の意思及び人格の尊重
- ・利用者の立場に立った障害福祉サービスの提供
- ・就労支援への取り組み
- ・障害児支援の強化
- ・相談支援事業の充実

#### 課 題

- ・グループホームの充実した運営
- ・高齢利用者対応の検討
- ・障害児通所支援事業の検討
- ・発達障害相談支援事業の充実
- ・リスクマネジメントの徹底
- ・安心安全な生活環境作りと整備



# ショートステイセンター デイサービスセンター

## 訪問を通じての地域交流

ハーティヴィラ亀鶴デイサービスセンター  
多田 明正

ハーティヴィラ亀鶴には、年間を通してたくさんの方が訪問に訪れて来ています。内容もフラダンスや民謡、落語など様々なものがあります。このような訪問の機会が利用者様と地域の方々の交流の懸け橋となり、日々の生活に刺激を与え、生活の活力に繋がっているのだと思います。街中に灯るイルミネーションも眩しい12月25日、ハーティヴィラ亀鶴デイサービスセンターにおいてクリスマス会を開催いたしました。

今回は、利用者様には内緒でスペシャルゲストをお招きしました。そのスペシャルゲストとは：たちね保育園の園児14名です。園児がホールに入ってくると利用者様は大歓声。どの利用者様も笑顔になりました。

約30分間、小さな身体を大きく使い、一生懸命歌や踊りのお遊戯を披露してくれました。子どもたちの一生懸命な姿に涙ぐむ利用者様もおられ、このような時間を提供できて本当に良かったと感じました。このような出来事が私たちの仕事のやりがいに繋がっています。最後は園児と利用者様1人ひとりが握手を交わし、再会を約束しておられました。「ほんまに小さくて可愛いな」「ひ孫を思い出すわ」と大変満足されたようです。

今後とも、地域の方と触れ合い、交流を図れるようなレクリエーションを企画し、利用者様に楽しんでいただこうと思っております。



サービス付き高齢者向け住宅  
みんなのおかげ  
ケアスタッフ 谷口 陽子

わたしたちサービス付き高齢者向け住宅も、おかげさまで今年4年目を迎えました。少しずつですが、季節のイベントや思いがけない出来事、また、利用者様と一緒に笑ったことや嬉しかったことは足あととなって、深く刻まれていっています。ある利用者様の口癖は「みんなのおかげ」。わたしたちも、利用者様はじめ支えて下さっている皆様や環境に感謝しながら、これからも利用者様が安心して過ごせる場を提供させていただきます。

### ケアプランセンターゆたか

センター長 鎌倉 節子

ケアプランセンターゆたかには4名の介護支援専門員が在籍しています。介護福祉士・看護師の職種に従事した経験もあり、相談業務を行っています。

利用者様・家族様のお話を十分にお聞きしその方にあったサービスの計画を提供させていただきます。





# ゆたか荘

## 開荘記念日を

## 迎えて

介護職員 富田 香里

平成28年3月1日でゆたか荘は16周年を迎えました。当日は、豪華な「お祝い膳」で御利用者・職員皆様でお祝いを行いました。赤飯・お刺身・果物など普段お目にかかれない献立に、食事を召し上がられた御利用者からは「豪華だね」「お刺身美味しいね」などの感想が聞かれました。また、おやつに「祝」の印が入った上用饅頭」を提供したところ、「なんかありがたい感じがする等、見て食べて節目の雰囲気味わって頂くことが出来ました。」

舞いや踊りなどきらびやかな祝宴を開き、盛大に祝うのも一つの方法ですが、お食事・おやつを食べ、ゆったり、そしてゆつくりと、共有した時間を過ごすことができ、御利用者の笑顔も多く見られとても嬉しく感じました。

私は4年目も終わり中堅職員となり指導する立場にもなりました。これから各種職員と協力し、御利用者が笑顔で過ごして頂けるよう支援していきたいと思えます。



## 職員紹介

### 生活から「食」を

### 捉える

美味しくかったの笑顔を求めて

管理栄養士 寒川 理奈

昨年9月から、ハーティヴィラ亀鶴より異動となり、ゆたか荘で勤務しています。

ゆたか荘では、ショッピングや菊花ドライブなどの外出行事にも参加し、御利用者の普段とは違う笑顔や会話等で、楽しい時間を過ごさせていただいております。

施設で過ごされている御利用者の健康を栄養管理で担っている一方、鍋パーティーや正月のおせち料理など、季節を感じていただけるようなメニューや企画を提案しています。御利用者の笑顔や、「おいしいよ」「また食べたい」「いつもありがとう」などのお言葉をかけていただけることが励みとなっております。

これからも、笑顔で楽しくお食事していただけるよう努めてまいりますので、よろしく、お願いいたします。



## 近隣小学生との交流を通して

副施設長 地域施設連携担当 新開 正義

当施設は、ボランティアの方々との交流を通じ、御利用者の生活に幅を広げ、社会との繋がりある良い機会を得ています。

今回はその中でも、御利用者の多くが喜ばれる、近隣小学生との交流を紹介致します。

当施設は、前山小学校・長尾小学校の2校が近隣にあり、運動会や授業参観等、毎年交流を重ねています。

今年の前山小学校は全校生徒11名。事前に代表の6年生2名が、打ち合わせに来荘し、内容やタイムスケジュールを決めました。少数精鋭で、上の学年の子が、しっかりと下の学年の子をみて、まとまり感と純粋さがストレートに伝わってきます。それは、歌声を聴くと特に強く感じられ、胸が熱くなります。そんな前山小学校も平成29年4月より学校統合化で閉校してしまいますが、これまで以上の記憶に残る交流を継続していきたいと思えます。

また、長尾小学校は3年団3クラスとの交流。全4回コース(①車椅子体験学習 ②施設見学 ③レクリエーション見学 ④自分たちで考えたレクリエーションを実施)とカリキュラムに基づいた交流を行っています。目的は、「高齢者との触れ合いを行うことにより、元来持っているやさしさ、思いやり等の大切な感情を育むとともに、高齢者を理解し、人とのつながりの大切さを感じる」と。核家族化が進み、また地域の繋がりが希薄になっている今、この取り組みにより世代を超えた関わりができ、また施設を利用している御利用者の状態も理解できていることなど、子どもたちの表情を伺うと、十分に目的は達成できているのではないかと感じています。

担当の先生からも、「訪問させていただくたびに、子どもたちはお年寄りへの理解を深めることができました。どうやったら、お年寄りの方が喜んでくださるのか、そして、どうしたら笑顔になっただけでなく、毎回、真剣に話し合い考えながら、心を込めて準備をする子どもたちを見て、思いやりや優しさが、一人ひとりの心に大きく育っているなど感じることができました。学校では学べない貴重な体験をさせていただいたおかげです。」とお礼のお手紙を届けて頂きました。

介護の現場は人材不足と言われています。確かに、きつくないとはいえないですが、しかし、それは何の職業でも同じ。私自身これまで携われて来たのは、それに代えることの出来ない「やりがい」「価値」等を感じているからです。今後小学生等との交流を通じ、人とのつながりの大切さや価値あるこの仕事の魅力を伝えていきたいと考えています。





## 秋の遠足

介護職員 内原 宏子

平成27年11月7日に御利用者・御家族・職員あわせて総勢49名で、愛媛県新居浜市にある「別子銅山産業遺産の里 マイントピア別子」に出掛けてきました。曇り空ではありましたが、気温は高く、風もなく、絶好の遠足日和となりました。

レストランからは、景観を楽しみながら、こだわりの御膳を美味しく頂き、鉱山観光では「トロッコ列車」に乗り、徐々に紅葉している自然豊かな山々の景色を眺めながら散策することが出来ました。名物の伊予柑ソフトクリームを食べているときの表情！とても充実した時間を過ごして頂けたように感じました。

「名前が聞いたことはあったけど、来たことはなく、まさか来れるとも思っていなかったのが良かった」「家族旅行が出来て良かった」等の声を御利用者・御家族から伺うことが出来、下見や打ち合わせなど大変なこともありましたが、その言葉を聴けたことで、「次は」という「やりがい」や「意欲」が湧いてきました。

普段とは違った環境で過ごす時間。御利用者の表情も明るく、御家族と笑顔で食事や談笑、散策をする姿こそ、当たり前前の生活であり、自然な姿だと感じました。このような姿を多く見ることが出来るよう、今後も努めて参りたいと思います。



## デイサービスセンター ゆたか

### 笑うは元気の源

介護職員 岡崎 汐里

クリスマス会では、職員による出し物「鶴の恩返し」「笠地蔵」を披露しました。皆さん内容はご存じの様子でしたが、職員の奇抜な恰好、演技力に会場からは大笑の様子が見られました。終了後、皆さんから拍手喝采を頂き、又、次回作の声も頂戴し、職員としても充実感を味わうことが出来ました。今後も定期的に皆様の活力に繋がる取り組みを続けていきたいと思います。



### フラワーアレンジメント活動

介護職員 松本 梓沙

今回で2回目となる花育活動の一環として外部講師を招いてのフラワーアレンジメントを皆さんで行いました。季節感ある色鮮やかな花々を手に取り、皆さん楽しむ表情、真剣な表情を織り交ぜながら良きひとときを過ごして頂きました。







## 男子・女子・通所

生活支援員 大熊 寛子

11月6日、遠足がありました。今回、初の試みで、男子寮・女子寮・通所生活介護合同での実施となり、69名参加の行事となりました。まず、竹屋敷で昼食をとりました。名物の栗赤飯・打ちこみうどん・こんにやくなどで好評でした。その後は大窪寺へ行きました。紅葉も見頃で、秋を感じられる1日でした。合同実施により、利用者さん・保護者さん・職員共察を超えた交流ができたように感じます。ご参加頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。



## 就労

生活支援員 原田由貴子

11月5日、秋の遠足ですたむらんど徳島に行きました。はじめにプラネタリウムに入り、満天の星空の中で星座や星の王子様を鑑賞しました。昼食後は自由行動となり、子ども科学館で展示物に直接触れたり操作したりして日常ではできないような不思議なおもしろい体験をしました。天候に恵まれ、笑顔いっぱい楽しい一日となりました。



## 南

生活支援員 宮下 義之

11月10日、南寮は五色台へ遠足に行きました。秋も一段と深まったこの日、色付き始めた木々を、皆さん思い思いに観賞しました。途中、五色台ビジターセンターを訪れ、自然科学にも触れました。季節と自然を感じられる楽しい遠足になりました。



私はクリスマス会でミニーちゃんの衣装を着ました。皆でパレードしました。プレゼントでピースをもらって沢山遊びました。よかったです。利用者 橋本 雅代



12月24日、クリスマス・イブにのぞみ園の皆さんでクリスマス会を開きました。通所・就労の合唱劇、女子寮のディズニーコスプレ、南寮のペーパーアートを使った合唱、男子寮のピアノ連弾、どの寮も見応えバツグンの発表で、あっといっ間の1時間でした。ケーキやプレゼントも楽しみ素敵なクリスマスになりました。

生活支援員

松川 恵子



生活支援員 間島 義博  
12月23日、のぞみ園の食堂にて「もちつき」が行われました。皆さん、餅をつく時には元気にかけ声をしたり、積極的に餅をつきにきて、とても楽しそうにしていきました。栄養士さんのクイズや警察の方々による歌の催し物があったりとたくさん楽しそうな笑顔が見られました。最後に警察の方からプレゼントをいただき有意義な一日を過ごすことができました。





### ひなまつり茶会

生活支援員 原田 大輔

2月28日(日)ひなまつり茶会が行われました。今回は20周年ということで、ホールの雰囲気も今までと違い利用者さんの作品をメインに展示し、好評をいただきました。  
お世話になってる地域の方々にお茶やお菓子でおもてなしをしました。このような交流を通じて、参加した皆さんにも笑顔が見られました。

無事に成人式を迎えることが出来ました。これからものぞみ園の友達と仲良くしていきたいです。 利用者 大森 瑛典



生活支援員 秋友 誠

1月12日に大林さんの成人式をのぞみ園で行いました。少し緊張した様子でしたが皆さんからお祝いの声をかけて頂き嬉しそうにしていました。また、おやつ時間は、大林さん好物のホットドックを調理して皆さんでおしく頂きました。

### 保護者の一言



田中 優子

### 「発見」と「楽しみ」と

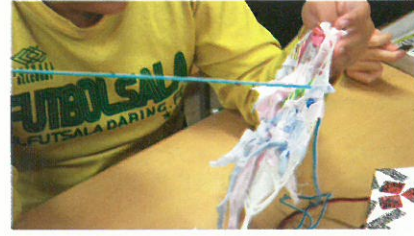
平成25年5月に娘は入園致しました。主人の看護、義母の介助、そして仕事。限界の中、支援センター様のお力をお借りして娘をのぞみ園に託すことを決めました。あまりの環境の違いに娘の精神状態はいかばかりだったかと思えます。当然の感情です。娘の状態を配慮して、親子の対面は控えた方が良く、施設の判断、私も同感でしたから、帰省も行事参加も控えて参りました。そして1年、2年と過ぎ、今は娘と会う機会を頂いております。以前より、音楽を好まない娘が、音に合わせてリズムを取っている姿は「発見」でした。きっと娘の「感性」が育ってきているのだでしょうネ。うれしい限りです。「家庭だから出来る事」施設だから叶う事...もあるのだと最近思います。これからも娘の「発見」を楽しみたいと思っております。  
職員の皆様、その時々の方々の柔軟な対応「心より感謝申し上げます」

### のぞみ児童デイサービス事業所

### 児童デイサービスでの一年

児童指導員 西 詩織

昨年四月より、保育士として毎日子どもたちと接しています。一人ひとりの日課活動やグループ活動等を通して、日々子どもの成長を実感することにも、様々な刺激を受けています。一歳から十八歳までという年齢はこれからの生涯をあゆんでいく上でとても大切な時期であることも強く感じる一年となりました。  
ここでの子どもたちは、笑顔溢れる生き生きとした姿で日々を過ごしています。児童デイサービスで関わらせていただく中で、これからも一人ひとりに合った支援や関わりができるよう学んでいこうと思えます。  
未熟な面もあるかと思いますが、今後ともよろしくお願ひします。



### 【お詫言と訂正】

平成27年10月1日に発行致しました「長尾福祉会報・第32号」におきまして誤りがありました。正しくは以下の通りです。  
P7「児童デイサービス事業所・十一年目の「二歩一歩...」  
(記)発達相談支援専門員 冬木和代  
(正)児童デイサービス事業所所長 冬木和代  
ご迷惑をお掛けしたことをお詫言するとともに、ここに訂正させていただきます。



### 新採用職員紹介

長尾福祉会では、新年度を迎え下記の職員を併せ、14名の職員が仲間入りしました。  
新しい仲間と共に、御利用者の想いに寄り添い、個々に応じたサービスの提供及び地域ニーズに応じていけるよう一生懸命頑張っております。  
皆様どうぞあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。



石尾 伸仁  
ゆたか荘



小玉 典弘  
ゆたか荘



大江 由華  
のぞみ園



中川 亨  
のぞみ園



土居 侑花  
のぞみ園



大風 誠司  
のぞみ園

豊長前長長藤ボ木山栗山侑玉香山国多小松小恵白長二松森真石入小吉の  
尾山尾尾聖巻う村原島地ア木西下方田谷原林生尾土井川鍋井谷西川ぞ  
考保小小学幼稚太も 正産青ザ肉恵正恵昭絹辰憲ノ人改良博康映利圭良薬  
舞育学学校園郎ん修徳侑果イ店子幸子美代雄一園園会区之生子夫武一子局  
会所校校園郎ん修徳侑果イ店子幸子美代雄一園園会区之生子夫武一子局  
様様様

ご支援  
ありがとうございました



このたびのぞみ園に、香川県共同募  
金会様から「NHK歳末たすけあい  
義援金」配分で洗濯機と掃除機を  
いただきました。大切に使用して  
まいります。  
ありがとうございます。

編集後記

新年度を迎え、新しいステージへあがり、明確なビジョンと決意を胸に取り組みを始められていることと思  
います。当法人も障がい・高齢者関係と法改正の大きな波に揉まれながらも、法人理念に挙げている「社会づ  
くり」を念頭に取り組みを行っています。  
これまで積み上げてきたものや与えられたものを受け継ぐだけではなく、時代の変化に柔軟に対応すると  
ともに、一つひとつを見直す姿勢を大切にしながら、職員一同頑張っていきたいと思っております。  
(ゆたか荘 新開)

ホームページURL http://care-net.biz/37/nagaofukushikai/  
のぞみ園 ● さぬき市昭和1032 / TEL 0879521727 / FAX 08791521728  
ゆたか荘 ● さぬき市昭和5624 / TEL 08792316511 / FAX 08792316565